

令和7年6月21日

佐伯鶴城同窓会総会を開催



大変多くの同窓生に参加していただきました



懇親会の最後は恒例の肩を組んで校歌を4番まで大合唱したのちに万歳三唱で幕を閉じました



同窓会活動は、ホームページやSNSなどを通じて積極的に発信し、皆様に開かれたものとするを約束いたします。

これからも、佐伯鶴城高校が地域に深く根ざし、輝き続ける学校であるために、同窓会として全力で尽くしてまいります。卒業生の皆様、そして在校生とその保護者の皆様からの温かいご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

提案
谷川憲一前会長

堤校長先生の講演会

令和七年六月二十一日(土)に、佐伯市内のホテル金水苑において、「佐伯鶴城同窓会総会」を開催いたしました。式典には関東、関西、福岡、大分市の各鶴城同窓会長のほか、PTA会長の簗戸良佑さん(47回生)など、多くのご来賓の皆さまにご臨席いただきました。

山
姿
舞
鶴

発行 窓会
佐伯鶴城同窓会
編集 松方
広報 委員
印 刷
(有) 岡 沢 印 刷

新会長に
富松 万平氏
(35回生) が就任



この度、佐伯鶴城同窓会の会長を拝命した富松万平です。歴史ある母校において、この大役を担うことを大変光栄に思います。

佐伯鶴城高校は、一九一一年(明治44年)の創立以来、地域社会とともに発展し、数多くの有為な人材を輩出してまいりました。この輝かしい伝統を受け継ぎ、未来へと繋ぐ役割を果たすべく、全身全霊で務めてまいります。



私たち同窓会は、会員相互の絆を深めることを基盤とし、関東・関西・福岡・大分に支部を擁する全国規模のネットワークを誇ります。この強固な繋がりを活かし、卒業生の活躍を支援するとともに、佐伯市への貢献にも力を注いでまいります。

そして何より、佐伯鶴城高校の未来を担う在校生の健全な育成と学業支援は、同窓会の最重要課題です。文武両道の精神を支え、生徒たちが充実した高校生活を送り、夢を追いかけられるよう、多方面からサポートしてまいります。

馬場の松



暑くて長い夏がようやく終わった。
毎年、夏の鶴城生を見ると思い出す。補習を抜け出して叱られた高3の夏のことを。夏休みも受験勉強の日々、甲子園出場が期待された野球部の試合を観るため、毎試合球場に通い、甲子園への切符を手にするその瞬間までスタンドから声援を送った。もちろん、甲子園にも反対を押し切り応援に行った。先生には怒られたけど、友達とかがえのない時間を分かち合ったあの夏に後悔はない。

私は同窓会を始めて、この夏で25年目を迎えた。あの鶴城の夏の思い出がなければ違う人生だったかもしれない。野球熱が冷めやらぬ、大学で野球部のマネージャーをし、球場ウグイスや実況放送席でスコアをつける経験をした。その時の喜びと快感が忘れられず、マイクを持つ仕事に就いた。

リポーターとして採用された初めての現場は夏の高校野球、あの思い出の大分球場だった。「こちら3塁側、佐伯鶴城高校の応援スタンドは」と、緊張と嬉しさいっぱいにリポートした日のことを今でも鮮明に覚えている。

現在、佐伯を拠点に活動していると様々な現場で、同じ「鶴城出身」というだけで距離が縮まり、世代が違っても先輩後輩の構図ができあがり仲良くなれる。肩を組んで共に校歌を歌う瞬間は感動がとまらない。色んな出会いが嬉しくて、地元で働けることにあらためて幸せを感じる。

そんな話を小6の息子にしていると、「いいな。僕も鶴城じゃないやい、ゲームしながら言うんじゃないよ。。。」

曾足 美穂(49回生)

佐伯鶴城魅力化支援金を設立

未来の母校を創る
生徒の活動を応援

鶴城祭で「魅力化支援金」
贈呈式を開催

令和七年九月四日、佐伯鶴城高校の文化祭「鶴城祭」において、佐伯鶴城高校同窓会から生徒会への「佐伯鶴城高等学校魅力化支援金」



「魅力化支援金」贈呈式が行われました。これは、生徒が主体となって学校の魅力を高める活動を応援するための新たな取り組みです。

富松同窓会会長より

生徒へ熱いエール

贈呈式で、富松万平同窓会会長は、少子化が進む現代において、学校が「選ばれる高校」になることの重要性に触れました。その上で、母校の未来を切り拓く主役は他ならぬ生徒自身であると述べ、「この支援金は皆さんの『こうしたい!』という熱



い想いを形にするためのものです。若い力と情熱で、母校の未来を切り拓いてくれることを期待しています」と、生徒たちに熱いメッセージを送りました。

この「魅力化支援金」は、同窓会が管理し、年間30万円を上限として、生徒会のアイデアに基づいた活動に活用されます。イベントの企画や地域連携プロジェクトなど、学校の特色化につながる幅広い活動が対象です。

支援金運用の主体は生徒会

支援金の運用については、生徒会が主体となり、責任者は生徒会長が務めます。予算案の作成から広報まで、生徒会が主体的に計画し、同窓会に報告する義務があります。

また生徒会は、活用状況を学校のウェブサイトや掲示板などで積極的に広報し、同窓会総会でも活動報告を行うことで、支援の成果を共有していくことになります。

同窓会費はいつでも受け付けています。

年会費 **3,000円** コンビニでも入金できます。

終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身会費 (現在70歳から79歳の方は、**20,000円**)
(現在80歳以上の方は、**10,000円**)

〈同窓会費はこちらまで〉

加入者名 **佐伯鶴城同窓会**
口座記号番号 **01740-6-47995**
〒876-0848
住所 **佐伯市城下東町7-1**

同窓会は、会費と鶴城振興基金により下記の支援をしております。

- Z会添削指導費全額補助
- 休日自主学習を指導する教職員に日当支援
- 予備校活用援助(生徒派遣)等
- 会報の発行・送付

国立大学
99名合格!

詳細は下記の二次元コードへ



※進学実数とは異なります。

今回の贈呈は、同窓会の皆さまからいただいた年間会費、寄付金、そして企業協賛金をもとに設立されました。同窓会は生徒たちの斬新なアイデアが佐伯鶴城のさらなる発展につながることを願って、この支援金が最大限に活用され、活気あふれる学校を作り上げていくことを心から応援しています。

詩趣豊かなる



玄関に置かれた「馬場の松」をご存じですか?

佐伯広域森林組合長の戸高寿夫さん(18回生)より寄贈された「馬場の松」が玄関に置いています。

〈寄稿文より〉

これぞ校歌に謳われた「馬場の松」です。昔、佐伯を襲った大津波を教訓に築いた土手の上に黒松が植えられましたが、1950年代の虫害により全滅しました。(樹齢300年)

その損失を惜しんだ先達が確保したこの円盤を当組合が大切に保管して来しました。

(中略)あらためて往時の雄々しき姿を偲び、当代の黒松群の健やかな前途を見守ろうではありませんか。

編集後記

本来、お盆くらいには発行するはずであった同窓会誌が遅れてしまい申し訳ございません。広報部は少数精鋭で頑張っていますので、同窓生の皆様からの同窓会の情報や、昔の思い出の写真、お手紙などをお待ちしております。世代を超えて懐かしみましょう。